

〈実践報告〉



身近な材料で草木染めを たの 楽しもう！

1. ドングリを使ってハンカチを染めよう

(1) 染める液（染料）を作ろう。

- ・ドングリ30個と水500mlを鍋に入れ、火にかけて煮よう。
- ・水がふつとうしたら弱火にしてドングリから色をぬきだそう。

(2) ハンカチに色が付きやすいようにする。

- ・のりをとったり、よごれを落とすために水の中で、もみ洗いしよう。
- ・洗ったハンカチをしぼって、水気をとろう。
- ・洗ったハンカチを豆乳に漬けてしぼろう。
- ・アイロンを使って、ハンカチを乾かさう。

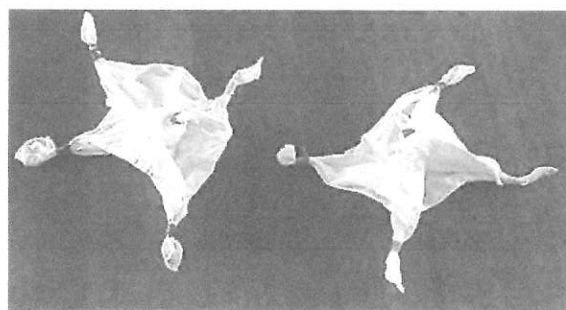
【ハンカチをタオルではさみ、中温で乾かす】

(3) ハンカチに色を付ける。

- ・ハンカチに輪ゴムを巻いて色がつかない所を作ろう。(図1)

【ハンカチの角の所や中をつまんで輪ゴムを巻き付ける】

- ・輪ゴムを巻き付けたら、(1)で作った煮汁の中へ入れよう。【図1. 中央に1本、4つの角に1本ずつのゴム】
- ※煮汁でヤケドしないように注意する。



【材料】(mm)

- ハンカチ2枚 ○ドングリ30個程
- タマネギの外皮3個分
- ミヨウバン6g ○水2ℓ ○豆乳200ml

【道具】

- 鍋 ○輪ゴム ○ガスコンロ ○菜ばし
- 網ふるろ ○アイロン ○タオル
- アイロン台

2. タマネギの皮を使ってハンカチを染めてみよう。

(1) 染める液（染料）を作ろう。

- ・タマネギの外皮を入れた網ふるろと水500mlを鍋に入れ、火にかけて煮る。
- ・水がふつとうしたら弱火にしてタマネギの外皮から色をぬきだす。

(2) ハンカチに色が付きやすいようにする。

- ・のりをとったり、よごれを落とすために水の中で、もみ洗いしよう。
- ・洗ったハンカチをしぼって、水気をとろう。
- ・洗ったハンカチを豆乳に漬けてしぼろう。
- ・アイロンを使って、ハンカチを乾かさう。

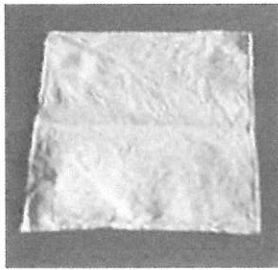
【ハンカチをタオルではさみ、中温で乾かす】

(3) ハンカチに色を付ける。

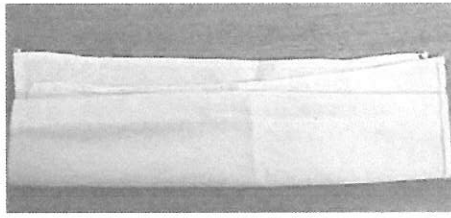
- ・ハンカチを2回折り、そこに輪ゴムを巻いて色が付かない所を作ろう。(図2、3、4)

【ハンカチの角の所や中をつまんで輪ゴムを巻き付ける】

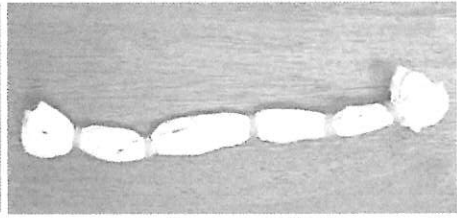
- ・輪ゴムを巻き付けたら、煮汁の中へ入れよう。



【図2. 1枚のハンカチ】



【図3. 2回折る】



【図4. 輪ゴムを5本巻く】

3. 媒染して色を落ちにくくしよう。

(1) ミョウバンで色を定着させる。

- ・水 500mL にミョウバン 3g を入れてよくとかし、媒染液をつくろう。
- ・ドングリとタマネギで染めた2種類のハンカチを煮汁から取り出して、媒染液に入れ、色変化を観察しよう。

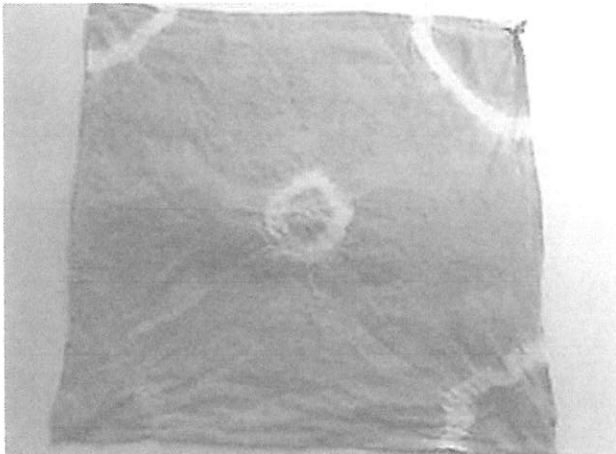
【10分後】

(2) ゴムで留めてできた模様を確認する。

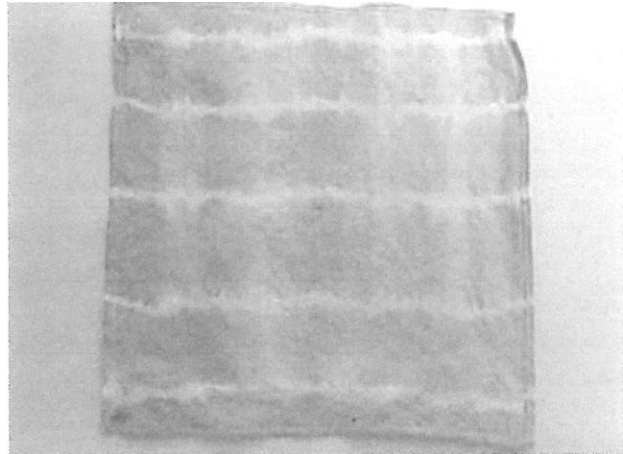
- ・流しで鍋ごと、流水をかけてハンカチを冷まそう。
- ・ハンカチが冷えたら輪ゴムをとり、よくすすごう。

(3) ハンカチを乾かそう。

- ・ハンカチをよくしぼり、余分な水分を落とそう。
- ・タオルにはさんで、アイロンで乾かす。(図5、6)

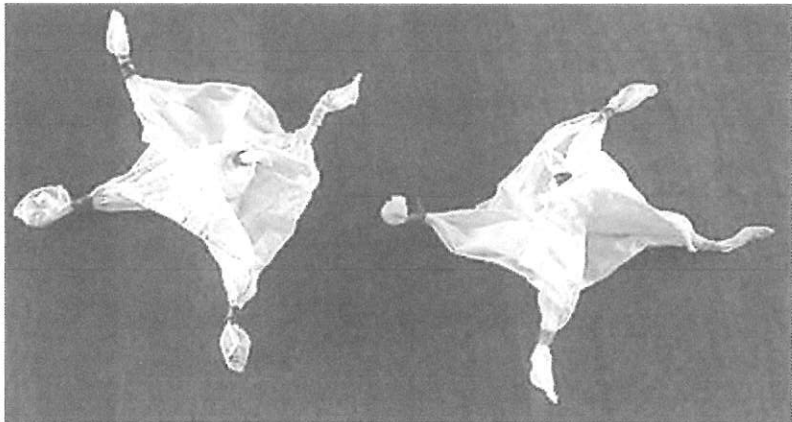


【図5. ドングリで染めたハンカチ】



【図6. タマネギで染めたハンカチ】

実践報告

教室の流れ	支援のポイントや留意事項
作業A(ドングリ) (1) 染め汁を作ろう。	<ul style="list-style-type: none"> ・ドングリ30個と水500mLを鍋に入れ、火にかけて煮汁(染料)を作る。(沸騰したら弱火に) ・ヤケド防止と時間短縮のためドングリはとりのぞかずそのまま進める。
(2) ハンカチに豆乳を染みこませよう。(15分)	<ul style="list-style-type: none"> ・ハンカチを水で洗い、汚れや糊を落とす。 ・水を絞って豆乳に漬ける。 ・豆乳からハンカチを取り出し、しっかりと絞る。 ・ハンカチをタオルにはさみ、アイロンを使って中温で乾燥させる。
(3) ハンカチを染めよう。 (40分程度)	<ul style="list-style-type: none"> ・ハンカチに輪ゴムを使って、しばりを行う。 ・しばりができたらドングリの煮汁にハンカチを入れ、染める。 <div data-bbox="635 819 1430 1240" style="text-align: center;">  </div>
作業B(玉ねぎの皮) (1) 染め汁を作ろう。	<ul style="list-style-type: none"> ・別の鍋に、玉ねぎ3個分の外皮と水500mLを入れ、火にかけて煮汁(染料)を作る。(沸騰したら弱火に) ・玉ねぎの皮はあみ袋に入れてから鍋に入れるようにする。 ・ヤケド防止と時間短縮のため外皮はとりのぞかずそのまま進める。
(2) ハンカチに豆乳を染みこませよう。(15分)	<ul style="list-style-type: none"> ・ハンカチを水で洗い、汚れや糊を落とす。 ・水を絞って豆乳の中に漬ける。 ・豆乳からハンカチを取り出し、しっかりと絞る。 ・ハンカチをタオルにはさみ、アイロンを使って中温で乾燥させる。

<p>(3)ハンカチを染めよう。 (40分程度)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ハンカチを半分に折り、長方形の形にする。更に、短辺を半分に折り4枚重ねにする。 ・長方形の長辺を輪ゴムで数か所で巻く。 ・ゴムを巻き終わったら、玉ねぎの皮の煮汁にハンカチを入れ、染める。
<p>(4)煮汁に入れて染めたハンカチに色を定着させる。 (25分)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・水500mLにミョウバン3gを入れて媒染液をつくる。 ・ドングリとタマネギで染めた2種類のハンカチを煮汁から取り出し媒染液に入れて、色変化を観察させる。 <p>【10分後】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハンカチを媒染液から出して、流水で濯ぎながら輪ゴムをとる。 ・ハンカチを流水でよく濯ぎ、固く絞る。 ・ハンカチをタオルにはさみ、アイロンで乾燥させる。
<p>成果(○)と課題(●)</p>	
<p>○身近な自然の物も見方を変えると新たな利用方法があることに子どもたちは気づいていた。</p> <p>○媒染によって色が大きく変化するので、子どもたちは興味をもってとりこんでいた。</p> <p>○濃い色にするためには、煮る時間を長くする必要がある。短時間で作業をする時は、ハンカチを折る回数を少なくするとよいことがわかった。</p> <p>●アイロンや熱湯を扱うため、活動前によく注意するとともに、大人と一緒にとりくみ、火傷防止に留意する。</p> <p>○対象年齢や学習時間によって、ドングリとタマネギを選択制で実施するのもよい。</p> <p>○時間短縮のためには、豆乳を染みこませたハンカチを事前に準備しておいてもよい。</p> <p>○総作業時間は作業Aと作業Bが重なる場合があるので短くなる。</p> <p>○一つの鍋に複数の参加者の作品を入れる場合は、針金のついた園芸用ネームプレートを使って、参加者の名前を書いて付けておくと良い。</p>	